

# エージレスパックをつくる

脱酸素剤エージレスはガスバリア性の高い包装材料と組み合わせることで、密閉容器内の酸素を吸収し、一定期間脱酸素状態を保ちます。この包装形態を『エージレスパック』といいます。脱酸素剤エージレスの正しい使い方、エージレスパックの作り方のポイントを説明します。

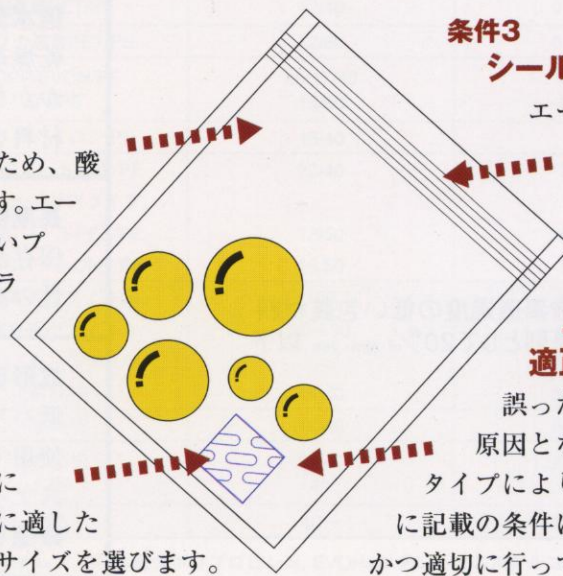
## ！ 脱酸素状態へ、4つの条件

### 条件1 ガスバリア性の高い 包装材料を用意する

容器内を一定期間脱酸素状態に保つため、酸素が透過しにくい包装材料を選びます。エージレスパックではガスバリア性の高いプラスチック袋、トレイ、金属缶、ガラスビンなどが使われます。

### 条件2 商品の性状・包装容器の容量に 適したエージレスを選ぶ

必要な時間内に容器内が脱酸素状態になるように、商品の性状と包装形態に適したタイプ、容器内の酸素量に相当するサイズを選びます。



### 条件3 シール機で完全に密封する

エージレスパックは完全密封でないと脱酸素状態にはなりません。ヒートシール機などを使って容器を完全に密封して下さい。

### 条件4 エージレスの取り扱いが 適正であること

誤った使い方はエージレスの失効などの原因となります。エージレスの取扱条件はタイプにより異なりますので、この取扱説明書に記載の条件に従い、開封・使用・保存は速やかかつ適切に行って下さい。

以上の4つの条件が満たされて初めて脱酸素状態が得られ、エージレスが効果を発揮します。ご採用にあたっては下記の採用までのステップに従い、実装試験を行い効果を確認して下さい。

## ！ エージレスパック商品完成までのステップ

### 第1ステップ

包装容器の材質と包装形態を決める

P.7「包装材料を選ぶ」

### 第2ステップ

商品の性状や包装形態、容器の材質、流通条件からエージレスのタイプを決める

P.16「エージレスのタイプを決める」

### 第3ステップ

容器内の酸素量を計算し、エージレスのサイズを決める

P.19「エージレスのサイズを決める」

### 第4ステップ

実装試験で効果を確認する

P.31「実装試験で効果を確認する」

### 第5ステップ

正しい取扱方法に従ってエージレスを使用する

P.21「エージレスの取扱方法」